



茨城県の近代化遺産

(建造物等)

笠間市立歴史民俗資料館 (旧宍戸町役場庁舎)

笠間市平町29

建物は昭和12年(1937年)に宍戸町役場として建築された。L字型平面、寄棟造、下見板張の2階建て役場庁舎で、東面に車寄、北面に大谷石造平屋建の文書庫を張り出し、西方奥に物置を配する。庁舎主体部は1階を窓口及び事務室、2階を議事堂とした標準的構成をとり、車寄せの間口を広くとる点に特色が認められる。友部町に合併後、庁舎は消防署に利用され、その後現在の資料館となっている。

[出典：茨城県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

主な内容

- ▼ 鳥インフルエンザ・豚熱の防疫作業に感謝
- ▼ 経営企画・土木委員会が県と意見交換
- ▼ 学生等に合同企業説明会等を開催
- ▼ 現場見学会・インターンシップを実施

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

県内各地で鳥インフルエンザ・豚熱 防疫作業に尽力

「地域の安全・安心を守る」使命果たす

本会は今年度、県内各地で発生した鳥インフルエンザ・豚熱の防疫作業に尽力しました。防疫活動は、茨城県との「防疫協定」に基づき県からの要請によって実施。多くの困難を乗り越え、「地域の安全・安心の守り手」という本会の社会的使命を果たしました。作業に携わっていただいた会員企業の皆さまには、改めて深く感謝いたします。

本会の防疫活動は、茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき、県からの要請によって行っています。

鳥インフルエンザは今年度、かすみがうら市や城里町、八千代町、坂東市などで発生。豚熱については石岡市やかすみがうら市で発生しました。

感染確認後、県からの要請により、地元支部の支部長を中心に作業体制を整えて、活動に従事しました。場所によっては昼夜3交代で作業を行ったところもありました。

多くの現場を抱えながらも作業に協力いただいた会員企業に、大井川和彦知事をはじめ、多くの方から感謝の声が届いています。

本会の防疫活動について、石津健光会長は「作



業に携わっていただいた地元支部の支部長をはじめ会員企業の役職員の皆さまには、最大限の感謝を申し上げます。本会は今後も、地域の建設業団体として『地域の安全・安心を守る』という使命を果たしてまいります。

令和4年度 本会の鳥インフルエンザ・豚熱防疫活動

鳥インフルエンザ防疫活動

作業期間	発生市町村	活動支部	従事人数	活動内容	全体の殺処分数
11月5日～22日	かすみがうら市	12支部	延べ1100人	殺処分、埋却処分	約102万羽
12月22日～26日	笠間市	水戸支部	延べ130人	殺処分、埋却処分	約10万羽
1月10日～16日	城里町	9支部	延べ360人	殺処分等	約91万羽
2月4日～3月1日	八千代町	県西3支部など6支部	延べ350人	殺処分、埋却処分	約110万羽
2月11日～2月14日	坂東市	4支部	延べ300人	殺処分、埋却処分	約115万羽

豚熱防疫活動

作業期間	発生市町村	活動支部	従事人数	活動内容	全体の殺処分数
4月13日～14日	石岡市	土浦支部	延べ30人	掘削、積み込み、運搬、埋立処分	864頭
3月3日～7日	かすみがうら市	土浦支部	延べ40人	殺処分、埋却処分	2960頭

経営企画委員会 土木委員会 ICTや週休2日で県と意見交換

経営企画委員会（鶴田哲男委員長）と土木委員会（梅原基弘委員長）は2月20日、茨城県土木部検査指導課・監理課との意見交換会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。ICT活用促進工事や完全週休2日制などを協議し、生産性向上や働き方改革を進める方策を探りました。

あいさつで鶴田委員長は意見交換の趣旨などに触れ「有意義な会議に」と祈念。県土木部の佐竹義人技術管理統括監兼検査指導課長は「ICT活用や週休2日制への移行を後押ししたい」とあいさつしました。意見交換ではICT活用促進工事、完全週休2日制促進工事、3月から適用の公共工事設計労務単価、書類限定型モデル工事、働き方改革などについて協議。最後に梅原委員長が総括コメントを行いました。



鶴田経営企画
委員長



梅原土木委員長



佐竹技術管理統括
監兼検査指導課長



生産性向上や働き方改革へ協議を重ねました

取り組み共有し普及へ 県i-Con推進連絡会

本会や国土交通省関東地方整備局、茨城県で組織している県i-Construction推進連絡会（会長＝日下部隆昭常陸河川国道事務所長）の令和4年度の会合が2月16日に開催され、本会もWEB方式で参加しました。

会議で本会は、会員がICTを円滑に導入できるよう無人航空機操縦士育成講習やICT関連講習会を開催していることを報告。令和4年度は小規模施工に適したICT体験会も開催したことを紹介しました。

そのほか出席者がDX（デジタルトランスフォーメーション）やICT施工、BIM/CIMへの取り組みなどを説明。普及促進へ情報共有と意見交換を行いました。

意見交換では、本会がプレキャスト化への取り組みを質問。さらに設計で作成した3次元モデル



会議では各機関が取り組みを紹介



本会もWEB方式で参加しました

を利用してICT建機で利用できるデータ関係について課題を投げ掛けました。

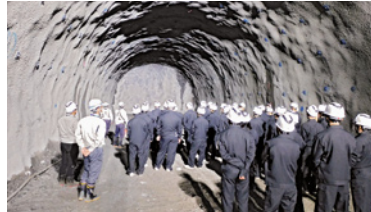
高校生や 専門学校生対象に 現場見学会・インターンシップを実施

本会は令和4年度も会員企業の皆さまのご協力をいただき、若年層の建設業への入職を促進するため、県内の高校生や専門学校生などを対象に建設現場見学会とインターンシップを昨年6月から11月にかけて行いました。

現場見学会は12校から581名が参加。(仮)上曾トンネル本体工事(桜川工区)などの現場を見学してもらいました。

インターンシップは延べ54社が実施。6校から153名を受け入れていただき、実際の作業などを実感してもらいました。

参加した生徒たちや教員は「建設業を身近に感じられた」などと話していました。



現場見学会 (上曾トンネル (桜川工区))



現場見学会 (都和アパート)



多くの学生が参加したインターンシップ



作業も体験してもらいました

協力して下さった関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

学生に建設業をPR

合同企業説明会・業界研究セミナー

本会は2月21日、県内の学生などを対象にした建設業合同企業説明会と建設業界研究セミナーを水戸市の茨城県武道館大道場で開催しました。ブースを設けた会員企業の43社は、県内の高校生をはじめ、県内・関東近郊の大学生や専門学校生などに建設業の魅力や重要性、自社のPRを行い、入職を促しました。

合同企業説明会やセミナーは、県内建設業の役割や魅力を直接PRして建設業に対する理解を一層深めてもらい、県内建設企業への就職を促進するために開催。

企業説明会は、県内の工業高校など11校の生徒200人超を対象に実施。業界研究セミナーには県内・関東近郊の国公立私立大学・専門学校4校や一般人など100人以上が参加しました。

各社は、ブースを訪れた生徒たちに会社の概況



43社がブースを設けて企業説明を行いました

や仕事の内容、やりがいなどを説明したほか、建設業の魅力を訴えました。

生徒たちはメモを取りながら熱心に耳を傾け、疑問点などを質問。各社の担当者が丁寧に説明を行いました。生徒同士が感想を話し合う姿も見られました。

代理人対象にスキルアップセミナー



本会は茨城県土木施工管理技士会との共催で、現場代理人スキルアップセミナーを土浦市（2月9日、10日）と水戸市（2月16日、17日）で開催。参加した技術者はマネジメントや施工計画などを研修しました。工事現場の運営の中心となる現場代理人の技術力向上を図るために開催。参加した技術者は現場のコストダウンの考え方や実践的な進め方、簡易な施工計画、マネジメントなどを研修し、理解を深めました。

公共建築改修工事で講習会



本会は2月22日、経済調査会との共催による公共建築改修工事に関する講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加した技術者は令和4年度版「公共建築改修工事」の標準仕様書（建築工事編）について研修しました。講習では標準仕様書における新営と改修の相違点、令和4年度の改定事項、令和4年度の公共建築工事積算基準の改定内容などを研修。積算例に基づいた演習も行いました。

公共事業費は4.3%増

茨城県の5年度予算案

茨城県の令和5年度当初予算案がまとまりました。公共事業費は前年度比4.3%増の1,089億3,400万円。国補は819億5,000万円、県単は269億8,400万円。国の1月補正予算分282億円を合わせると同2.9%増の1,370億円となります。主な事業は次の通りです。

- ◆国補公共事業（補助事業）＝656億3,700万円
 - ・道路橋梁（国道354号境岩井バイパス、国道408号長豊橋など）
 - ・河川（澗沼川など）
 - ・港湾（茨城港など）
 - ・土地改良（ほ場整備利根西部地区など）
- ◆県単公共事業
 - ・防災減災対策、維持修繕＝144億9,800万円
 - ・長寿命化対策＝33億5,700万円

全国平均は11年連続上昇

設計労務単価が改定

国土交通省と茨城県は、本年3月から適用する公共工事設計労務単価を明らかにしました。全国全職種（50職種）の単純平均は前年度比5.2%上昇。全国全職種の加重平均値は2万2,227円で、11年連続で上昇しました。

茨城県の主要工種の単価は次のとおりです（カッコ内は前年度比）。

- ◆特殊作業員＝2万3,700円（3.9%増）
- ◆普通作業員＝2万2,600円（7.1%増）
- ◆軽作業員＝1万5,400円（7.7%増）
- ◆鉄筋工＝2万6,500円（3.1%増）
- ◆運転手（特殊）＝2万7,000円（8.9%増）
- ◆運転手（一般）＝2万1,700円（5.9%増）
- ◆交通誘導警備員A＝1万6,900円（9.0%増）
- ◆交通誘導警備員B＝1万5,300円（8.5%増）

太田支部
活動報告

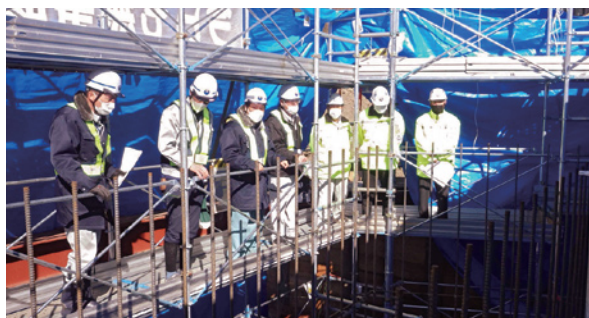
安全作業へ 講習会



太田支部（瀬谷實支部長）は2月10日、茨城県常陸太田工事事務所（木村政美所長）と建設現場の安全管理講習会を開催。「不安全行動とヒューマンエラー」の講演を聞き、建設業における労働災害の実態や事故発生のメカニズム、不安全行動の要因などを研修。「安全は与えられるものではなく、自分の努力で得られる」との認識を新たにしました。梅原基弘副支部長は「労働災害事故が増加傾向にあり、さらなる安全意識の向上が求められる」と呼び掛けました。

大子支部
活動報告

安全対策で 県と合同点検



大子支部（大藤博文支部長）は2月22日、茨城県大子工務所（兼澤公也所長）と建設工事現場の合同点検を実施しました。県発注の現場7カ所を巡回し、労働災害防止の安全管理や現場環境の改善などの徹底を図りました。椎名義正副支部長は「支部として毎月1回のパトロールを実施しているが、今回の結果から安全対策の再確認と各現場の環境改善につなげていきたい。年度末に向け支部一丸となって事故防止に努めていきたい」と話しています。

筑西支部・常総支部
活動報告

課題解決へ下館河川と意見交換

筑西支部（小薬拓巳支部長）および常総支部（中川原勇支部長）は2月27日、国土交通省関東地方整備局の下館河川事務所（海津義和所長）との意見交換会を開催。下館河川事務所での対面とWeb方式を併用し、マンパワーの必要性や適切な工期設定を要望するなど課題解決に向けて意見を交わしました。

海津所長は「生産性向上に向け、現場で働く皆さまの声を聞き改善につなげたい」とあいさつ。

小薬支部長は「発注者と共に考えながら仕事を進めることが必要になる」、中川原支部長は「地域の守り手として安心安全に努めるべく、有意義な時間にしたい」と充実した意見交換に期待を表



しました。

議事では、筑西支部が特定JVを条件とした入札や河川工事ではマンパワーが必要なことなどを要望。常総支部では適切な工期の設定や詳細設計照査の期間についての考慮などを求めました。

建設業労働災害
防止協会茨城県支部

令和5年度 4月～6月講習会予定表

建設業労働災害防止協会茨城県支部は、令和5年度上半期の各種講習会等の日程をまとめました（そのうち4月～6月開催分は別表）。講習会等の問い合わせ・申し込みは建災防県支部（水戸市大町3-1-22茨城県建設センター3階、電話029-300-4638）または分会へお願いします。

なお石綿障害予防規則の改正により、建築物等の解体等を行う際には事前調査が必要となっており、事前調査は「建築物石綿含有建材調査者講習」を受講して修了考査に合格した者に行わせることが本年10月から義務化されます。そのため同講習の早めの受講をお願いします（対象講習は別表の網掛け部分です）。

令和5年度4月～6月 講習会開催予定表

月	日	曜日	講習名	会場	備考	
4	6	7	木 金	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	11		火	小型車両系建設機械（整地・運搬・積込み用及び掘削用）	建荷協研修センター	(学科) (実技)
	12		水			
	13	14	木 金	建築物石綿含有建材調査者（一般）	茨城県建設技術研修センター	
	19	20	水 木	玉掛け	建荷協研修センター	(学科) (実技)
	21		金			
	25		火	刈払機取扱作業	建荷協研修センター	
	26	27	水 木	地山の掘削及び土止め支保工作 主任者	茨城県建設技術研修センター	
28		金				
5	9		火	フルハーネス型安全帯特別教育	建荷協研修センター	
	11	12	木 金	足場作業主任者	鹿嶋市商工会館	
	15		月	ローラー系機械（締固め用）の 運転	建荷協研修センター	(学科) (実技)
	16		火			
	17	18	水 木	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)(実技) (実技)
	19		金			
	25		木	丸のこ等取扱作業従事者	建荷協研修センター	
	26		金	職長・安全衛生責任者能力向上	茨城県建設業協会筑西支部会館	
29	30	月 火	小型移動式クレーンの運転	建荷協研修センター	(学科) (実技)	
31		水				
6	1	2	木 金	石綿作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	6		火	低圧電気取扱業務（学科のみ）	茨城県建設技術研修センター	
	8	9	木 金	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会筑西支部会館	
	12	13	月 火	足場作業主任者	茨城県建設技術研修センター	
	16		金	足場の特別教育	建荷協研修センター	
	20	21	火 水	職長・安全衛生責任者教育	鹿嶋市商工会館	
	22	23	木 金	建築物石綿含有建材調査者（一般）	茨城県建設技術研修センター	
	27	28	火 水	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)(実技) (実技)
	29		木			
30		金	刈払機取扱作業	石下建設会館		

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー

建設未来協議会がDX講習会



建設未来協議会（鈴木達二会長）は2月7日、建設業のDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。「現場が楽になる」建設DXの進め方を学びました。

鈴木会長は「視野を広げ、発想を転換し、身の丈に合ったデジタル技術の活用がDXにつながる」とあいさつ。講師の(株)建設ITワールド代表取締役・建設ITジャーナリストの家入龍太氏は「テレワークや、移動のムダ削減、のありがたさを実感することが大切」と強調しました。



山本千尋さん

建設未来協議会・建女ひばり会 境工事管内で合同安全点検



中村組の中村氏が自社の取り組みを紹介しました

建設未来協議会、建女ひばり会は2月8日、茨城県境工事事務所と合同で現場点検を実施。坂東市と常総市の3カ所で安全衛生対策の点検と施工者の取り組みについて確認しました。

建設未来協議会の青木敏紘県西地区幹事は「ほかの会社の安全管理を見る機会は少ないので、自社の安全管理を見直す良い機会」と話しました。

点検では河川護岸工事を施工する中村組（中村利幸社長、坂東市）の現場を訪問。同社の中村なおみ氏が安全対策と時差の取り組みを説明し、天気予報を確認し水位増加による事故の防止と、デジタルサイネージなどを使用して近隣住民の理解につなげることを紹介しました。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽潮来支部
(株)大平工業 城内 浩作 → 城内 浩和
- ▽土浦支部
茨城県南造園土木協業組合
外塚 真由美 → 宮本 篤也
- ▽竜ヶ崎支部
(株)コウキ建設 根本 健樹 → 根本 博行
- ▽常総支部
正栄工業(株) 岡野 雅男 → 岡野 清

〈住所変更〉

- ▽土浦支部
(株)斉藤建設 〒300-0805 土浦市穴塚町1677-1
→ 〒300-0805 土浦市穴塚1677-1